

Tokai

広報とうかい
人・自然・文化が響き合うまち

September [No.727]

9・10

Bi-monthly Magazine
for The People of Tokai

2005年[平成17年]

Contents [9月の主な話題]

●平成16年度は10の目標を達成！……………2

**報告します！
行財政改革取り組み状況**

●村政懇談会……………4

皆さんの声を村政に！

●村政への提案レター……………7

●新しい村立東海病院……………9

●ず〜むあっぷ「まちの風景」……………10

●青少年育成体験記(PART.66)―[船場] 坪孝明さん……………12

舟石川ソフトボールスポーツ少年団に携わって

●今どきの青少年(VOL.76)―[船場] 酒井健次さん……………13

インターハイに向けて頑張ってきたこと

●STATION GALLERY……………14

●図書館トピックス……………15

●いんふおめーしょん……………16

●わが家の子育て奮戦記……………20

[舟石川] 島田直子さん・実夢ちゃん



報告します！ 行財政改革取り組み状況

～平成16年度は10の目標を達成！～

村では、平成13年3月に策定した「東海村第2次行政改革大綱」に基づき、毎年、行財政改革を推進しています。今月号では、平成16年度の行財政改革の達成状況および今年度中に予定している「第3次行財政改革大綱(仮称)」策定の基本的な考え方についてお知らせします。

平成16年度の取り組み 結果は？

平成16年度は、全部で35の推進項目について、行財政改革に取り組みました。これらの推進項目については、毎年、①「推進項目について完全に実施できたもの」、②「推進項目の全部または一部について着手し、ある程度成果が出たもの」、③「協議などは重ねているものの成果としてまだ現れていないもの」の3種類に分けて達成度評価を行っています。

全庁的な取り組みの結果、平成16年度に定めた推進目標がどの程度達成できたかを表1に、また、実施できた項目の具体的な内容を表2に示しました。

35項目の内訳は、①の「完全に実施できたもの」が10項目、②の「ある程度成果が出たもの」が15項目、③の「まだ成果が現れていないもの」が10項目という結果になっています。①と②を合わせると25項目、全体の71・5パーセントになりますので、取り組みの成果はある程度上がっていると言えますが、まだ十分ではありません。行財政改革を推進していくため

には、職員一人ひとりの不断の努力はもちろんですが、住民の皆さんの協力も欠かせません。村では、今年度も、平成17年度の目標を達成できるよう行財政改革を推進していきますので、皆さんのご協力をお願いします。

●問合せ 政策審議室 ☎ 282局
1711 内線1371

「行政改革大綱平成16年度実施計画」推進項目の達成度(表1)

番号	重点項目	推進項目の達成度				達成度			
		完全に実施できたもの		ある程度成果が出たもの		まだ成果が現れていないもの		達成度	
1	事務事業・組織機構の見直し(17項目)	6項目	35.3%	5項目	29.4%	6項目	35.3%		
2	職員の意識改革の推進(6項目)	1項目	16.7%	5項目	83.3%	0項目	0%		
3	職員の定員・給与の適正化の推進(2項目)	0項目	0%	2項目	100%	0項目	0%		
4	情報化等の推進による行政サービスの向上(3項目)	1項目	33.3%	1項目	33.3%	1項目	33.3%		
5	効率的な公共施設の管理運営(1項目)	0項目	0%	0項目	0%	1項目	100%		
6	健全な財政運営(6項目)	2項目	33.3%	2項目	33.3%	2項目	33.3%		
合 計(全35項目)		10項目	28.6%	15項目	42.9%	10項目	28.6%		

「第3次行財政改革大綱 (仮称)」を策定します！

村では、平成13年度にスタートした「第2次行政改革大綱」の計画期間が今年度で終了することから、今年度中に、平成18年度から22年度を目標年次とする「第3次行財政改革大綱(仮称)」(以下「新・大綱」という)を策定することとしています。

新・大綱の策定に当たっては、まず第2次行政改革大綱に基づく過去5年間の達成状況について総括的な評価を実施し、課題や問題点を明らかにした上で、社会経済情勢の変化や住民意識の多様化等、自治体を取り巻く昨今の厳しい状況に対処するための新たな推進項目の設定を行う予定です。

また、計画の中身ですが、第2次行政改革大綱には、①推進内容が抽象的な項目があること、②取り組みの担当課が不明確な項目があること、③推進目標が数値化されていない項目があり、成果を数値で示せないことなど、改善を図るべき点もあることから、今回の策定では見直したいと考えています。

なお、今年3月、総務省から「地方公共団体における行財政改革のための新たな指針」が示されまし

平成16年度に完全実施できた10項目

(表2)

① 事務事業評価制度の定着と充実〔政策審議室〕	村では800を超える事務事業を行っています。このうち268の事業を選び事務事業評価を実施しました。事務事業評価とは、事業を妥当性、成果、効率性の観点からチェックし、その結果を今後の事業の実施に生かしていくものです。平成16年度は、評価制度を導入してから3年目の年でしたが、この間、調査シートの内容などに工夫・改善を凝らしているほか、継続的に研修会を実施してきました。その結果、職員の意識改革も進み、それに伴い評価の精度も向上していることから、目標としていた「評価制度の定着と充実」は達成したと判断しました。ただ、今後も継続的に制度の改善を図っていく必要がありますし、事務事業評価より一歩進んだ施策評価の導入も検討課題ですので、平成17年度も行財政改革の推進項目の一つとして継続的に取り組んでいくこととしています。
② 総合福祉センターの完成に伴う総合的社会福祉施設の一元化と福祉サービスの充実〔社会福祉課・高齢福祉課〕	平成16年4月に総合福祉センターが完成したことにより、これまで以上に保健・福祉の連携が図れるようになりました。施設の運営については、住民を含めた「運営協議会」(委員10人)を組織し、毎月の利用状況や次月の利用予定を報告するとともに、利用者からの意見・要望を検討するなど、問題解決のために施設が丸となって取り組んでいます。その結果、①大広間のカラオケ回数の増、②入浴の際の腕輪の改善、③両替機の設置、④ヘルストロン(電位治療器)の設置、⑤エントランスの不便解消など、運営全般にわたる不便が解消されました。
③ 東海村村道改良舗装採択基準の運用の推進〔建設課〕	村道の新設・拡幅などの要望は、毎年「区長要望」として行政に寄せられます。行政では、要望の内容を「村道改良舗装採択基準」に照らし、投資効果等について分析し、その上で工事を行うかどうか判断しています。平成16年度も6件の要望が寄せられましたが、これらの要望については、基準に照らして適正に判断した結果、投資効果が見込めないと判断されたため、6件すべてについて採択を見送りました。
④ 官報情報のシステム化の検討〔総務課〕	村ではこれまで、官報(新たに公布された法律等、国が国民に告知する必要がある事項について記載された政府の発行する機関誌)を購入していましたが、平成16年度から購入をやめ、インターネットによる検索に切り替えました。これまでの紙面による収集・管理業務が無くなったため、保存スペースが不要になったほか、担当職員の業務の効率化が図られました。また、官報情報検索システムは、昭和22年から直近まで検索できるなど、情報量が豊富で、検索スピードも早いことから、業務の効率化・情報の共有化の面で大きな効果が出ています。なお、これまでの紙面による購読料は、月に3,596円でしたが、情報検索システムは月に2,100円と、経費も節減されました。
⑤ 容器包装リサイクル法施行に伴うその他プラスチックの分別収集の委託化検討〔環境政策課〕	検討の結果、分別収集業務はシルバー人材センターへの完全委託、減容器については、リース契約と決定しました。また、村内32区だけではなく、必要に応じて地域説明会を実施したほか、広報紙を活用したり、分け方・出し方を説明したパンフレットやハンドブック(便利帳)を作成したりするなど、住民の皆さんへの積極的な周知に努めました。
⑥ 地方分権に即した簡素で効率的な組織・機構の整備〔政策審議室〕	税金滞納者の増加に対応し、徴収体制の整備を図るため、企画総務部税務課内に「収納管理室」を設置しました。この改編により、平成17年4月1日現在、村の組織は31課6室65係体制となりました。
⑦ 職員提案制度の活用〔政策審議室〕	職員が、行財政改革についていつでも自由に提案できる制度として「職員提案制度」がありますが、平成9年度から15年度までの7年間で、提案はわずか7件という状況でした。このような状況を打開するため、平成16年度に「東海村職員提案要綱」を見直し、より提案しやすい制度としました。また、村長、助役、各部課長を中心に、提案の気運を醸成し、提案を全庁的に奨励しました。さらに、パンフレットの作成や庁内放送の活用、標語の作成など啓発活動に努めた結果、最終的に42件の提案が寄せられました。これらの提案は提案審査会で厳正な審査を行い、このうち10件が採択されています。
⑧ 東海村情報化推進計画に沿った電子行政のシステム化の推進〔企画財政課〕	「いばらき電子申請・届出サービス」(これまでの窓口申請に加え、職場や自宅のパソコンからインターネットを利用して申請や届け出が簡単にできるシステム)が稼働しました。平成16年度末現在で、19事務についてインターネットを利用して申請ができるようになっていました。電子申請はまだ少ない状況ですが、申請手法の選択肢が増えたことで、住民サービスの向上が図られました。また、職員を対象に情報セキュリティに関する研修会を実施したことにより、これまでに比べ、職員の情報に関する認識が高まり、セキュリティの確保を図ることができました。
⑨ 国・県の補助金・助成金の有効活用〔各課〕	各課で国・県の補助金内容を精査の上、その有効活用にも努めました。平成16年度に利用した国の補助金等は約11億5,000万円、県の補助金等は約5億2,000万円でした。
⑩ 経常経費のうち事務的経費の削減〔企画財政課・各課〕	各課において、事務的経費(旅費、消耗品費、燃料費、食料費、印刷製本費など)の削減に努力しました。その結果、平成16年度当初予算715,630千円に対する執行額は、62,449千円減(執行率にして91.3%)の653,181千円に抑えられました。

た。これは、一部自治体の不適切な手当ての支給などに対する国民からの厳しい批判を踏まえ、今後5年間の行財政改革の取り組みを示した「集中改革プラン」を、今年度中に策定・公表するよう、全国の自治体に求めたものです。

この指針を受け、村でも「集中改革プラン」を策定しなければなりません。新・大綱の計画期間と、「集中改革プラン」の計画年度がおおむね一致することから、新・大綱と「集中改革プラン」を1冊にまとめようと考えています。

ただ、「集中改革プラン」には、盛り込むべき推進項目が具体的に列記されている上、「住民にわかりやすく、かつ、他団体と比較可能な数値目標を示すこと」などさまざまな条件が付けられていますので、策定に当たっては十分な検討が必要になります。

今後、全庁的な体制で策定に取り組むとともに、住民組織である「行政改革懇談会」からの助言・提言を得たり、ホームページを通じて住民の皆さんから意見を募集するなどし、職員がやりがいを持って取り組め、また、住民の皆さんには評価していただけるような計画を策定することとしています。

皆さんの声を村政に！

村政懇談会



村松 小学校区
中丸 小学校区
石神 小学校区
編

今月号では、先月号に引き続き、7月下旬から8月上旬にかけて行われた村政懇談会で、参加した皆さんからいただいたご意見・ご要望を紹介します。なお、村政に関する皆さんの声を随時受け付けていますので、本紙の7・8ページに綴じ込んであります封書などを利用してどうぞお寄せください。

▼問合せ 企画総務部自治推進課自治推進係（☎282局1711 内線1341）

主な質疑応答内容

▷村松小学校区



■日 時 7月5日(火) 午後7時～9時
■場 所 真崎コミュニティセンター
■対 象 真崎区、舟石川3区、原電滝坂区、原研荒谷台区の住民
■参加者数 63人

▼最近、病院での医療ミスによる死亡事故のニュースを耳にし、大変ショックを受けました。新東海病院は自治医科大学関連の協会に委託されるのですが、医師の質についてお聞かせください。

▽新病院建設準備室長 (社)地域医療振興協会

所属の医師は、自治医科大学卒の医師が約3分の1、その他の国立・私立大学卒の医師が約3分の2で構成されていますが、同協会会長は自治医科大学の学長であり、日本医学会の会長でもありますので、しっかりとした医師の指導管理を行っている組織と認識しています。村としては、同協会との間で運営協議会という組織を立ち上げ、その中で医師をはじめスタッフの管理についても十分に協議を重ねていきます。

▽助役 現東海病院の医師の方々は、決してこれまでが悪いという訳ではありませんが、これからは、チーム医療という形で専門科ごとに一つの治療方針を定め、組織としての医療対応をしていくことが大切と思われます。また、埼玉県大宮市にある、(社)地域医療振興協会の全国的な研修センターへ恒常的に医師を派遣し、常に医師の訓練・医療技術のレベルアップを図りながら対応していきたいと考えています。

▼清掃センターは築10年を経過し、隣地に新病院も建設されることから、環境面を考慮し、ひ

たちなか地区への焼却炉建設をひたちなか市と協議の上、早急な対応をお願いします。

▽経済環境部長 清掃センターについては、村とひたちなか市とで行政連絡協議会の下部組織として、環境問題検討連絡会を設置し、その中で検討しています。ひたちなか市としても供用開始から既に20年を経過していますので、早急な建設を考えていると思われます。いずれにしても、単独で造るのは難しいと思いますので、ひたちなか地区に造る方向で考えています。規模等につきましては現在検討中です。

▼子どもや障がいをお持ちの方、老人の方々が、一緒にふれあいを持つ場として、「絆」がともよく利用されていると感じています。ただし、ミニコンサートなどを開く際のピアノの運搬に非常に苦労しているようなので、ピアノの設置を要望します。新品でなくても、家庭で使わなくなったものの提供を呼び掛ければ、申し出があると思いますので、ご検討をお願いします。

▽福祉部長 どなたか寄贈いただけるような協力を得られるのであれば、スペースなども含めて検討していきたいと思っています。

▼村内の幹線道路にはそれぞれ街路樹が植栽されていますが、所々無くなっている、植樹柵に雑草が生えている所があります。景観的に良くないので、管理および補充をお願いします。

▽建設水道部長 街路樹が枯れて無くなった場合などは村で補充します。また、街路樹が植えてある植樹柵は、地域ボランティアの方々がそれぞれ花を植えたり草を取ったりなど管理していただいていますので、地域住民の方の協力を得ながら管理していきたいと考えています。

▼先日行われた環境自治体会議に私も参加しましたが、せっかくの大きな会議なのに村民の参加が少なく思いました。特に3日目の閉会式では、会場に空席が目立ち寂しい感じでした。環境自治体会議についての評価はどうだったのでしょうか。また、今後村政にどのように生かしていくのかお聞かせください。

▽経済環境部長 参加者につきましては、1日目に700人、2日目に900人、3日目に400人、全体で延べ約2000人の参加がありました。確かに3日目はそれぞれ帰りの都合もあったようで、参加者が少なく感じましたが、2日目の分科会への村民の参加は相当ありました。評価につきましては、参加者から大変良い評価をいただきました。今後何に生かすかについては、10月に行う東海村環境フォーラムにテーマとして盛り込むとか、地球温暖化対策

協議会などを立ち上げ、横の連携が図れる組織をつくるなど、環境に対して住民の皆さんにも意識を高めていただけるようになればと考えています。また、ごみ問題や自転車によるまちづくりなどの政策にもつなげていきたいと考えています。

▶中丸小学校区



■日時 7月6日(水) 午後7時～9時
■場所 中丸コミュニティセンター
■対象 押延区、須和間区、舟石川中丸区、原研長堀1・2区、緑ヶ丘区、南台区の住民
■参加者数 30人

地区委員会からの報告

私たちは、活動を開始して今年で5年目になりますので、今までの主な活動内容を報告します。「中丸ピオトープ」づくりは、木道が3分の1ほどできていますので、今年中には木道を渡り、遊歩できるような状態にしたいと思っています。それから、須和間公園墓地の西端にある下諏訪古墳群地内の下草刈りなどを行い、そこで素晴らしい景色を眺望できる良い状態になりました。また、環境改善による動物の回帰といいますが、絶滅の危機にひんしているトウキョウサンショウウオが、村内4箇所(内3箇所が中丸地区内)

で発見できました。卵を産める場所を作るなど、少し環境を改善したことで多くの産卵が確認でき、これから環境問題を考える際の一つの手段になるのではないかと思います。これからも私たちは、この豊かな自然を次世代に残すためにその保護・復元を積極的に行い、皆さんの協力を得て次の段階へ進みたいと思っています。

▼下水道工事などの後の、道路の復元について質問します。村内の道路を車で走行中、工事後の道路がでこぼこなため、ローリングやピッチング、ヨーイングまで起こります。ひどい所では、工事後3か月ほどで、埋め戻した部分が既にへこんでいます。土木業者の技術が低いのか、適正な埋め戻しを行っていないのか分かりませんが、役場では工事完了の検収検査をどのように行っているのでしょうか。また、ひどい場合は業者にやり直させるべきと思うのですが、対応をお聞かせください。

▽建設水道部長 道路の沈下は、工事で下水道管を通した後、管の回りに山砂などを入れ土を戻しても、一度掘り起こした土ですから、入念に上から転圧をかけても十分に土のすき間を埋めることができず、時間の経過とともにへこんでしまうことがあります。これらを含めて道路工事については、2年間の瑕疵担保期間を設けてありますので、その期間内にでこぼこなどの欠陥があった場合は、業者に厳重な指示をし、必ず手直しをさせます。検収については、現場を目視し、経過を写真で判定するなど確認した上、完了後は検査・監査を受けています。

▼今年度行われる緑化推進事業は、「石神・真崎地区において地域住民との協働による緑地保全活動および公園整備を実施します。緑化推進のための基金を創設します」とありますが、どのように予算を使うのでしょうか。また、公園ばかりではなく緑地の保全について深く考えていただきたい。

▽建設水道部長 緑化基金は、人々に安らぎを与え、景観形成や地球温暖化防止に欠かせない緑豊かな自然環境を、次の世代に引き継ぐことが私たちの責務であると思いますので、緑地の保護・保全、失われた自然の回復などに充てられます。この事業は村充足50周年事業の一環で、石神城址公園の整備や真崎古墳群の保全を行うもので、公園の整備というより、自然の状態に少し手を加えながら良い環境で保全していくという考えです。

▼都市計画事業で、中丸地区に公園が整備されることになっていますが、何年ごろにできるのでしょうか。

▽建設水道部長 中央土地区画整理事業につきましては、平成13年度から本格的に始まり、現時点で、道路は11%ほど、家屋移転は20%ほど完了しています。区画整理地内にお住まいの方のために、インフラ（生活の基盤などを形成するもの）整備を進めながら、家屋移転を最優先ととらえ実施しています。神楽沢近隣公園の整備は、その後、もしくは並行して進めるという形になります。もうしばらく時間がかかると思いますが、ご理解ください。

▷石神小学校区



■日時 7月7日(木) 午後7時～9時
■場所 石神コミュニティセンター
■対象 外宿1・2区、内宿1・2区、竹瓦区の住民
■参加者数 75人

地区委員会からの報告

「石神の豊かな自然・歴史と未来をつなぐ」をスローガンに、私たちが取り組んでいる石神城址公園整備事業について報告します。昨年10月、4万平方メートルある石神城址の約4分の1に、ヤマアジサイやムラサキシキブなど約1000本を、300メートルほどの遊歩道を取り巻くように植栽し植樹祭を行いました。今年度は、村の事業の一環として井戸を掘る事業が行われます。これによりハナシヨウプやミズバショウなどが生育していくでしょう。そして今秋には、第2回の植樹祭も予定しています。これからも、行政との協働で自然公園にふさわしい環境づくりおよびまちづくりを皆さんとともに進めていこうと考えています。

▼日立東海線ができ、村の管理地となった所には草が生え、大量の虫が発生しています。農業を営む私たちにとっては、このことで大変困っ

ています。従いまして、虫が発生しないよう、除草を年に4回実施するなどの対策を講じていただけないでしょうか。

▽経済環境部長 ご迷惑をお掛けして申し訳ありません。関係課と協議の上、適切な時期に除草できるよう、また、回数を増やせるよう取り組んでいきたいと思っています。

▼今日のような大雨が降ったときに、この外宿1区・2区は村道と畑地とに段差があり、畑地のほうが高いため土砂が側溝に流れ込んでいる状態です。そしてこれからも、側溝が埋まりつつありますので、難しい課題とは思いますが改善していただけないでしょうか。

▽建設水道部長 道路を築造するときには、地権者の方に現場の状況を説明し、道路の方が畑地より低くなることも了解を得ていますので、できましたら畑地の所有者の方々に工夫していただければと思います。また、側溝に流れ込んだ土砂を排出する場合には、処分費として少なからず費用がかかります。併せてご協力とご理解をお願いします。

▼国道6号から石神小学校へ向かう道路の入口の辺りに穴が開いています。雨の日には、車が通過するたびに水たまりの水がはねて、子どもたちがそれをよけようと、雨が降っているのに傘を横にしているのかわいそうです。この道路は随分痛んでいると思うので、道路の改修がどうなっているのかお聞かせください。

▽建設水道部長 現場を確認して、すぐに直せるものであれば早急に補修します。

村政への提案レター

あなたの声をお聞かせください

- 村政に関する意見・要望・身近なことについての提言など、
どしどしお寄せください。
- 「広報とうかい」で紹介する場合もあります。
- この封書は、平成19年3月31日まで有効です。

封書は切手を張らずにポストに投函してください。

また、このレターはお互いの立場を尊重するものと考えていますので、必ず
住所・氏名・電話番号を明記してください。無記名のものはお答えできません。

■問 合 せ 企画総務部自治推進課自治推進係 (☎282-1711 内線1341)

き り と り 線



料金受取人払

東海局承認

4

差出有効期間
平成19年3月
31日まで

(切手を張らずに
お出してください)

3 1 9 1 1 9 0

東
海
村
長
行

〈受取人〉
東海村大字白方一七四八番地一
(東海村企画総務部自治推進課扱い)



き り と り 線

き
り
と
り
線

あなたの声を市政に

まちづくりのアイデア、身近な問題、みんなに
提言したいこと、何でも結構です。

行政には目が届かない問題もあると思います。
みんなが工夫すれば、解決できることも多いと思っ
ます。難しく考えないでどんな小さなことでも結構
です。

みんなで支え合えるまちづくりのために、あなた
の知恵をお貸してください。



※無記名にはお答えできません。必ずあなたの住所・氏名を書いてください。
名前を伏せてほしい方は、氏名の後に「匿名希望」と書き加えてください。

(これは封書になりますので、切り取って投函してください。)

きりとり線

のりしろ

きりとり線

のりしろ

きりとり線

のりしろ

件名		住所		職業
		東海村		
年齢	氏名	電話番号		

新しい村立東海病院

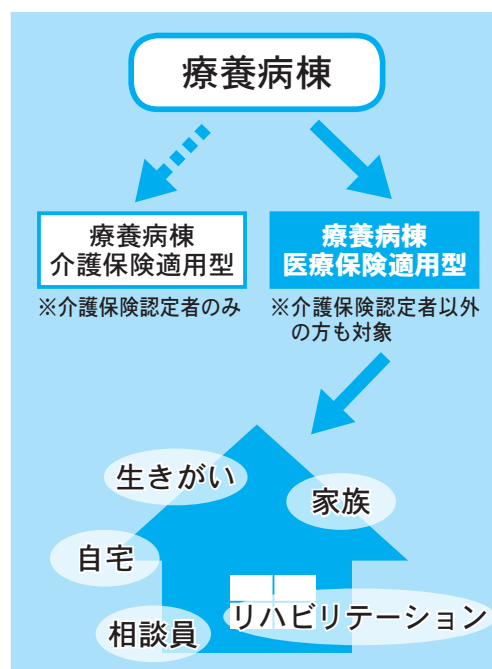
療養病棟ってどんなところ？

新しい村立東海病院では、一般病棟と療養病棟の2種類の病棟を造ります。

療養病棟には、「医療保険適用型」「介護保険適用型」の2つのタイプがあります。この違いは保険の支払い方法によるものですが、新しい村立東海病院では、「**医療保険適用型**」の療養病棟となります。医療保険対応で、介護保険の対象とならない患者さんも入院することができ、入院中に今後の療養方針をご家族や専門相談員と話し合いながら決めていきます。

通常、治療後は退院し、自宅に帰ることになりますが、中には、病気はある程度良くなっても自宅に帰れるほど元気ではない患者さんや、治療の限界もあり、これ以上の入院治療を必要としない患者さん(特に高齢者)がいます。このような方を対象とした、病院と在宅(自宅)との中間の入院施設が“療養病棟”です。

療養病棟は、“病院”の一部なので、常時医療専門スタッフがいます。専門スタッフによる食事訓練やリハビリテーション等で、一日も早く在宅(自宅)へ戻り、普通の生活や自宅での家族による介護ができるように努める病棟ですので、家庭環境により近い病棟といえます。しかし、在宅生活等がどうしても困難な場合は、主治医・専門相談員・ご家族と相談し、介護保険施設への入居や転院等を考えていくことになります。新しい東海病院は、患者さんにとってより良い生活が送れるように協力していきます。



療養病床の基準との比較

	基 準	新東海病院	
病床数	1 病室 4 床以下	個室	4 床室
患者 1 人当たりの病室面積	6.4 以上	18.2	6.7
機能訓練室面積	40 以上	152	
患者 1 人当たりの食堂面積	1 以上	1.28	
特殊浴室	有ること	有る	

(単位：平方メートル)

病院への上手なかかり方(その2)

東海病院整形外科医師 大場 義幸



前回に関係しますが、医師は患者さまからの正確な情報で約80パーセント診断すると言われてしています。今回は、「診察の必要性」について説明したいと思います。

■診察は重要です

初めての患者さまは、体の全体的な診察を行うことが多いです。痛いところだけを見るのではなく、その反対側や関連するほかの部分も診察します。その結果、レントゲンや血液検査へと診断を進めていきます。十分に診察をしないと、余計な検査を行う結果となり、費用も高額になります。それと同時に、正確な診断ができないこともあります。

再診の患者さまでも、治療効果の判断に“診察”は重要です。ただ薬を飲んでいれば良い、ただ電気をかけていれば良いというわけではないのです。“診察”をして治療が効果的であれば治療を継続する、あるいは使用薬の減量などを行い、治っていれば治療の中止や終了とします。効果がなければ治療の追加や変更を行います。効かない薬や治療を無駄に継続することはいかかなものでしょうか。無駄な治療を減らすためにも、“診察”が必要です。なお、医師が診察をしないで薬を処方することは、医師法に抵触することになります。

問 合 せ 新病院建設準備室 ☎287-0899 電子メール sinbyouin@vill.tokai.ibaraki.jp



広がれ！“地域住民の輪”

7月23日、原研荒谷台区(原田正英区長、97世帯)の主催による荒谷台夏祭りが、第1荒谷台公共棟広場前で開催されました。これは、「いきいき地域活力事業」の一環として、地域住民の親ぼくと融和を図ることを目的に行われたもの。会場は、ヨーヨーすくいやくじ引き、ストラックアウトや犬のバルーンに大喜びする浴衣姿の子どもたち、また、世間話に花を咲かせる大人たちで大にぎわい。「この区には、若い人も多い。このお祭りが、地域住民の輪が広がるきっかけになれば」と原田区長は笑顔で話してくれました。



●大自然の中で広がる友情の輪

7月27日、「第16回友情の船北海道研修の旅出発式」が東海文化センターで行われました。「友情の船北海道研修の旅」は、5泊6日にわたる研修を通して、子どもたちの自立心やリーダーシップを養うとともに、友情を深めることを目的としたもの。式典では、195人の参加者を代表して、小学生6人が「北海道の大自然を楽しみながら、たくさんの友達をつくってきます」と宣誓。中学生リーダーが作詞作曲したテーマソング「笑顔」を合唱した参加者たちは、たくさんの保護者に見守られる中、元気いっぱいに出発しました。

●おいしい食習慣のすすめ

8月3日、東海村食生活改善推進員連絡協議会(今橋絹枝会長、会員数118人)による「親子の食育教室」が石神コミュニティセンターで開催されました。これは、親子が協力しながら料理を作る楽しみを体験するとともに、子どもたちに小さいころから適切な食習慣を身に付けてもらおうと、4・5歳児とその保護者を対象に行ったもの。同協議会会員の指導の下、参加した19組の親子はふれあいや会話を楽しみながらクッキング。食事の後は、栄養のバランスなどについての話を聞き、“食育”を楽しく体験できたようです。



●目で見て肌で触れて感じたことを表現します

6月12日から22日まで、東京都美術館で開催された「第77回新構造展」で、高橋忠治さん(石神内宿在住)が「損保ジャパン美術財団奨励賞」を受賞しました。この賞は、新進芸術家の支援・育成や優秀美術家の表彰を目的に同財団が授与しているもの。7月11日、その受賞報告のために村上村長を訪れた高橋さんは、「今後も自分の目で見て、肌で触れて感じたことを描いていきたい」と話していました。なお、受賞作品は、来年3月に損保ジャパン東郷青児美術館で開催される「損保ジャパン美術財団選抜奨励展」で展示されます。



●子どもたちの“宝”直します

7月9日・16日の2日間にわたり、「おもちゃドクター養成講座」が総合福祉センター「絆」にて開講されました。これは、「頼れるお父さん講座」の一環として開講されたもので、家庭で壊れてしまったおもちゃを直すおもちゃドクターを養成し「おもちゃ病院」を立ち上げることを目的としたもの。参加者は、小林牧雄さん(おもちゃ病院連絡協議会監事)の下、①おもちゃの故障診断や診察法、②損傷した個所の修理法、③プラレール(プラスチック製の機関車)の動力ユニットの分解・組立などを熱心に学んでいました。

●これからも地域住民の交流の場として成長し続けます

8月7日、「真崎コミュニティセンター創立10周年記念式典」が真崎コミュニティセンター(園部実センター長)で行われました。館内では、黒羽根弘一真崎コミセン企画運営委員会会長の「地域に根差した場所となったのは、皆さんの努力のおかげ」とのあいさつに続き、今までの運営に尽力した方を表彰。広場では、恒例の「真崎コミセンまつり」が行われ、子どもから大人まで楽しんでいました。10周年という節目を迎えた同コミュニティセンター——。地域住民の交流の場として欠かせない“存在”になりつつあるようです。



●子どもたちを健全にはぐくみましょう!

7月から9月にかけて、特に夏休み期間の青少年の非行防止を図るため、青少年育成団体や関係機関による巡回活動(延べ76回、参加予定者:延べ964人)が実施しています。8月2日、おそろいの帽子と腕章を身に付けた10人の参加者は、「青少年は地域社会からはぐくむ」という共通の理解と認識の下、青少年の問題行動(器物破損、恐喝、暴行など)の早期発見や、非行の未然防止などを心掛けながら、JR東海駅とその周辺を巡回しました。皆さんも、青少年健全育成のための活動を積極的に推進していきましょう。

文芸とうかい

【俳句】

夕蟬を遠くにきいて日は暮れる

舟石川 舛井 愛子

稲妻の一閃雲をちぎりけり

白方 柴田 一声

夏草の生い茂る中風ありて

舟石川 佐藤 とよ

ふるさとの山なみ想う虫の声

外宿 西山 純一

朝日射し峰影揺るる青田波

村松 松本 正勝

岬にて赤い大地のサンゴ草

豊岡 中島エミ子

気だるさも静々ぬけし秋扇

白方 根本 武

紫陽花の長き命や通り雨

白方 根本 怜子

丁寧に残暑の見舞師にささげ

村松 川崎 常義

青梅雨の寂然とうつ初穂かな

村松 正木 幹夫

【短歌】

終戦も知らず歩きし満州の死線の広野二十二才

夏 南台 根本内俊男

思い出のスナップ写真の亡き夫遺影となりて微笑み居りぬ

外宿 高槌 すみ

久びさに娘の家の庭に居り色様々の花に見とれる

船場 中井川しげ

梅雨寒に病む友案じわがおれば花から花へくろ揚げ羽舞う

外宿 照沼あや子

指導者からのメッセージ

少年育成 主 目 体 験 記 PART. 66



舟石川ソフトボールスポーツ少年団に携わって
舟石川ソフトボールスポーツ少年団指導者会長
船場 坪 孝明

「お願いします！」毎週日曜日、舟石川小学校の校庭に元気なあいさつが響き渡ります。現在、舟石川ソフトボールスポーツ少年団は、村内在住の小学1年生から6年生までの団員21人で構成しています。

毎年、3月からは、練習試合を取り入れながら、リーグ戦・各種大会に出場。その「リーグ戦」は3月から11月までの長丁場となりますが、その間、「笠松スポーツ天国少年ソフトボール大会」(5月から10月まで)、「関東大会茨城県予選」(6月)、「茨城県スポーツ少年団スポーツ大会」(7月)、「元気カップ東日本大会」(霞ヶ浦大会)(8月)、「関東大会茨城県新人戦」(10月)、「日本原力発電ソフトボール大会・那珂市近郊少年ソフトボール親善大会」(11月)など、各種大会に出場。そして、「スポーツ

少年団駅伝大会」(12月)、「スキー交流会・卒団式」(3月)というように、年間を通して数多くの行事がありますが、後援会の御協力のお陰で、毎年、予定通り無事に活動することができ、大変感謝しています。

大会に出場すると、いつも「練習や練習試合で勉強した成果を十分に発揮してほしい」、「また「見学に来る人たちに感動を与えたり、指導者の私たちですら、鳥肌を立ててしまうような素晴らしい試合を...」と思っています。それには、やはり基本が大事ですので、基本を繰り返し繰り返し忍耐強く教えていくつもりです。また、その基本はキャッチボールでも身に付くかもしれません。子どもの時に経験した親とのキャッチボール。いくつになっても記憶に残っているものです。手の空いた時間を利用して、ぜひやってみてはいかがでしょうか？

きつと心のキャッチボールにもなりますよ。最後になりますが、公式ホームページ(<http://www.geocities.jp/funasyousoftba/index.html>)を作成しました。今まで出場した各大会の結果などを紹介していますので、ぜひご覧ください。また、団員を随時募集中です。ソフトボールに興味のあるお子さんがいましたら、電子メール(funasyousoft@yahoo.co.jp)等でご連絡ください。お待ちしております。

初獲りの完熟かぼちゃを手にかけてどんな旨味
か期待ふくらむ

外宿 小林美代子

古代人の生活のあとを偲びつつ掘りたる遺跡に
ロマンを思う

村松 高橋 正弘

裏山の梢の先まで赤く染め程なく終戦八才の
夏

内宿 村上 文江

かくれんぼの幼な兄弟あどけなしカーテンの蔭
にくすくす笑う

須和間 柴山 靖子

開放日七夕祭りに集まりてロマンを求め短冊に
書く

照沼 佐藤 昇

定年の妻にいたわることばなくふがいなき吾に
職さがしいて

緑ヶ丘 佐藤 正

たれだろう蟬と緑のあわいより聴える曲は「北
の国から」

舟石川 渡辺 敏博

広き田は見渡す限り緑濃く出穂近からん天の恵
みに

舟石川 小川 志つ江

夜明け前ひぐらしの鳴く宮の森今日は一日酷暑
にならん

船場 舂井庫之助

治療室の二階の窓にひびく音阿漕の花火まぶた
に描く

舟石川 工藤和一郎

自らの香り放ちて勢へる葦の花刈る夏の終り
に

船場 吉沼 良子

●「文芸とのかい」作品募集

掲載を希望する方は、はがきに住所、氏名、
電話番号を明記の上、掲載を希望する号の発
行1か月前までに届くように、かい書（読み
にくい漢字にはルビを付けて）で作品をお送
りください。応募者多数の場合は先着順とな
ります。なお、応募作品は一部添削すること
がありますので、ご了承ください。

エッセー頑張る

今どきの
青少年
VOL. 76



インターハイに向けて頑張ってきたこと

東海高等学校2年
船場 酒井 健次

僕が入部している「東海高校ホッケー部」
は、創立当時から活動しており、今までに
11回のインターハイ出場を果たしてきました。
毎年6月に開催される関東大会の上位
6チームがです。昨年は、残念ながら出
場できなかったのですが、「今年こそは12回目
の出場を！」と練習に励んできました。特
に、日中照り返しの強い真夏は、気分が悪
くなるほどの厳しい練習を行いました。ま
た、冬になるとスティックを持つ手がかじ
かみ、ボールを打つたびに手が痛むことも
ありました。

練習試合は、県内で男子ホッケー部を持
つ高校が無いので、他県の高校生と試合を
行います。さらに、最近は高校生だけでは
なく、大学生とも練習試合をやるようにな
りました。

通常、練習試合は30分の試合を1日6本
行います。5本目、6本目の試合になると、
足がつってしまったり、次の日、全身が筋
肉痛になったりして大変です。それでも、
インターハイに出場したいという強い気持
ちがあったので、精一杯頑張ってきました。

今年の6月、東海高校で関東大会が開催さ
れました。結果は3位入賞。目標としてい
た、12回目のインターハイへの出場権を手
に入れることができたのです。

そして、8月。千葉県の大原市で、イン
ターハイが開催され、1回戦は大阪府の精
華高校と対戦しました。試合が始まると互
角の勝負で、前半戦を0対0で終え、後半
戦に突入しました。しかし、後半に入り、
僕たちのチームの集中力が切れ始めたとき
に、1点を取られてしまいました。その後
は、僕たちは怒とうの攻撃を展開しまし
た。反撃及ばず、そのままタイムアップ。0
対1で負けてしまい、すごく悔しい思い
をしました。

これからは、インターハイで負けてしま
った悔しさをバネに練習に励み、来年の大
阪インターハイ出場を目指して、さらに頑
張っていきたいと思っています。

東海村を撮る《東海村発足50周年記念事業》



移りゆく東海村や村民の生活など、東海村写真連盟会員が2年がかりで撮影した作品を中心に、約100点を展示します。あらためて東海村を見直し、郷土の素晴らしさを見ていただければ幸いです。 ※最終日は午後3時に閉館します。

9月18日(日)～24日(土)

全日本写真連盟ひたちなか支部創立30周年記念展



全日本写真連盟は、朝日新聞社を母体とした集団です。今回は、ひたちなか支部の26人がテーマを設けずに撮影した風景・スナップなどを展示します。作者の感性が集結した作品をお楽しみください。 ※最終日は午後2時に閉館します。

9月11日(日)～17日(土)

STATION GALLERY

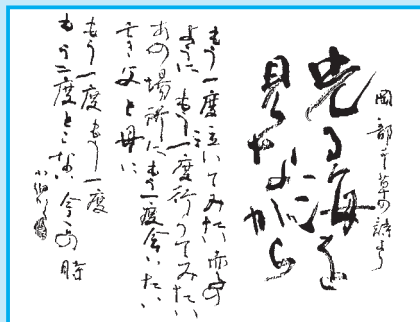
高橋忠治絵画展～交錯する光を描く～



東海美術連盟や美術団体「新構造社」などで活躍する絵画作家高橋忠治さんの個展です。近年のシリーズ「宙の指環」を中心に展示します。鮮やかな色面をご覧ください。 ※最終日は午後3時に閉館します。

10月9日(日)～22日(土)

岡部千草の詩集「こころね」を書く～曾澤小伯の書展



「岡部先生の詩には小・中学生との優しい語らいと心のふれあいがある。その詩集『こころね』を読んだとき、先生の心の音を通りて表現してみたくまりました。」 ※最終日は午後3時に閉館します。

10月2日(日)～8日(土)

茨城県身体拘束ゼロ相談窓口を設置しました

高齢者が利用する介護保険施設等（介護老人福祉施設、保健施設、療養型医療施設、グループホーム、有料老人ホーム等）では、①本人やほかの利用者の生命が危険にさらされる可能性が高い②拘束以外に介護する方法がない——場合を除き、身体拘束（体をベルトで固定するなど、介護を必要とする方の行動を制限する行為）は禁止されています。介護保険施設等では、身体拘束廃止に取り組んでいるものの、いまだに身体拘束が行われている施設もあります。

そこで茨城県では、介護保険施設等での身体拘束廃止に向けた取り組みを支援するために、平成17年度茨城県身体拘束ゼロ相談窓口を設置し、身体拘束に関する相談や身体拘束を廃止するためのケアの工夫について、具体的な助言や指導を行っています。介護保険施設等の利用者やその家族、施設の職員など、身体拘束に関する心配事がある方は、ぜひご利用ください。

●日 時 ①毎週水曜日 午前9時～午後4時 ②毎週月曜日 午前9時～正午 ※フアクシミリでの相談は、随時受け付けます（回答は電話、またはフアクシミリで行います）。
●問合せ ①茨城県老人福祉施設協議会（☎241局8529 FAX 241局4456） ②茨城県作業療法士会介護老人保健施設「涼風苑」内（☎029763局0008 FAX 029763局0018）

図書館トピックス

開館20周年記念音楽会「雅楽の夕べ」

水戸雅楽会が、日本古典音楽「雅楽」を舞楽とともに説明を交えて演奏します。

●期 日 10月8日(土)

●時 間 午後5時10分から6時10分まで

●場 所 図書館

第10回古本市ボランティア募集

10月30日(日)から11月6日(日)まで開催する古本市のサポートをしていただけるボランティアを募集します。

●期 間 10月9日(日)～11月13日(日)

●対 象 18歳以上の方(高校生は除く)

●内 容 本の整理、古本市の受け付けなど

●申し込み・問合せ 9月30日(金)までに図書館(☎282局3435)へ申し込みください。

最近の人気本(7月1日～8月16日)

●一般書

「東海村の自然(東海村の自然調査会編集／東海村教育委員会)

「アイデア貯金箱」(田中周子著／大月書店)

「ドラえもん」(藤子・F・不二雄著／小学館)

「ねんど・古新聞でつくる手づくり貯金箱おもしろ工作ランド」(井上征身著／いかだ社)

「夜のピクニック」(恩田陸著／新潮社)

●児童書(課題図書を除く)

「かいけつゾロリとなぞのひこうき」(かいけつゾロリ)「かいけつゾロリ」

つかまる!!(はらゆたか作／ポプラ社)

「ミッケ!」(ウォルター・ウィック著／小学館)

「あかちゃんまんとベビードーナッツ」(やなせたかし作／フレーベル館)

第133回芥川賞・直木賞受賞作品の貸し出し

●芥川賞受賞作品

「土の中の子供」(中村文則／新潮社)

●直木賞受賞作品

「花まんま」(朱川湊人著／文芸春秋)

予約が集中した本の貸出期間

予約が集中した本は、貸出期間を1週間にさせていただきます。限られた冊数の本を多くの人に貸し出しできるように、ご協力をお願いします。

9月の展示コーナー

●一般向け

料理の本・実りの秋を美味しくたべる!

●児童向け

スポーツを楽しむつ!

●幼児向け

【上旬】けいろうの日 【下旬】たいいくの日

「たんぽぽの会」によるおはなし会

期 日 毎週土曜日(第5土曜日を除く)
時 間 午後2時～3時
場 所 おはなしコーナー
内 容 絵本の読み聞かせなどを行います。

休館日

9月12日(月)・19日(月)
20日(火)・23日(金)
26日(月)・30日(金)
10月3日(月)・10日(月)
11日(火)

国民年金 だより



誕生月には 現況届の提出を

国民年金受給者の現況届

国民年金を受給している方は、毎年、誕生月に現況届を提出していただいています。現況届は、引き続き年金を受ける権利があるかどうかを確認するための大事な届け出です。誕生月の上旬に社会保険業務センターから送付されますので、住所・氏名、加給年金額対象者の氏名などを記入し、切手を張って社会保険業務センターに、誕生月の末日までに届くようにお出しください。

また、本人が必要事項を記入することができないため、親族などが代筆するときは、「受給権者欄」や「加給年金額対象者欄」などに漏れなく記入した上で、「代理人署名欄」に代筆者の氏名・住所を記入してください。

なお、現況届の提出が遅れたり、または、提出しなかったときは、年金の支払いが一時止まることもありますので、ご注意ください。この場合、現況届が社会保険業務センターに届いてから、さかのぼって年金をお支払いすることになります。受けている障害基礎年金の傷病の種類によっては、医師または歯科医師の診断書やレントゲン写真が必要な場合がありますので、ご了承ください。

問合せ

福祉部保健年金課国保年金係(☎282局1711内線1133)

人口と世帯数

平成 17 年 8 月 1 日現在			
前月比			
世帯数	13,051	世帯	+ 20
総人口	35,593	人	+ 50
男	17,935	人	+ 34
女	17,658	人	+ 16



9・10号／お知らせ

「母と子のサロン・後期」参加者募集

初めての子育てに戸惑っていませんか。友達づくりや子育ての息抜きができる「母と子のサロン」に、ぜひご参加ください。

■日 時 10月28日から11月25日までの毎週金曜日(全5回) 午前10時～正午

■場 所 中央公民館

■対 象 村内在住の0歳児(平成16年12月1日から平成17年6月30日までに生まれた第1子)とその母親(前期に参加した方を除く)

■定 員 先着15組

■参加費 無料

■申し込み・問合せ 青少年育成東海村民会議事務局(青少年センター内)

青少年育成東海村民会議発足25周年記念事業「歩く会」

青少年育成東海村民会議では、発足25周年記念事業として開催する「歩く会～自然と科学と歴史のまち見て歩きディスカバリー東海 オンロード～」の参加者を募集します。

■期 日 10月15日(土) ※雨天時は10月16日(日)に順延となります。

■時 間 午前9時30分受付、午前10時開会

■場 所 村松コミュニティセンター集合

■対 象 村内在住・在勤の方とその家族
※小さなお子さんが参加する場合は、責任の持てる方の同伴が必要となります。

■コ ー ス 村松コミュニティセンターを起点とした村内約8キロメートル

■参加費 100円/人(小学生以上の方)

■そ の 他 ①弁当と飲み物をお持ちください。②小学生以上の方に、記念品(パンダナ)を差し上げます。

■申し込み・問合せ 教育委員会社会教育課・各コミュニティセンター・青少年センターに備え付けの用紙に必要事項を記入の上、9月24日(土)までに、青少年育成東海村民会議事務局(青少年センター内 〒319-1115 東海村船場768 FAX282-7813)へお持ちいただくか、郵送またはファクシミリで申し込みください。

募集

東海村奨学金制度奨学生2次募集

■対 象 ①村内に1年以上在住している方の子弟②経済的理由で就学が困難③学業成績が優秀で向学心旺盛④高等学校・高等専門学校・専門学校・大学(短期大学を含む)に在学中——を満たす方

■奨学金の額

区 分		金 額	定 員
高等学校	公立	15,000円	4人
	私立	25,000円	
高等専門学校	第1～3学年	15,000円	9人
	第4学年以上	30,000円	
大学(短期大学を含む)		30,000円	4人
専門学校		30,000円	

■申し込み・問合せ 10月31日(月)までに、所定の申し込み用紙に必要事項を記入の上、教育委員会学校教育課企画総務係(内線1412)へ申し込みください。

久慈川とその周辺の写真を募集

久慈川水系環境保全協議会では、久慈川と久慈川水系の河川周辺の四季折々の美しい景観や、川と住民生活とのかかわりをとらえた写真など、久慈川水系にまつわるさまざまな情景写真、テーマ写真を募集します。お寄せいただいた写真は「久慈川のほとり」に掲載予定です(応募多数の場合は選考)。なお、応募写真の著作権は、同協議会に帰属しますのでご了承ください。皆様のご応募をお待ちしています。

■申し込み・問合せ 12月2日(金)までに、写真(キャビネ判まで、デジタルカメラはデータを提出、未発表作品、標題・撮影場所・日時・撮影者氏名・年齢・住所・電話番号を明記)を経済環境部環境政策課環境保全係(内線1451)へお持ちください。

東海村役場	282-1711	東海村総合福祉センター「絆」 283-2299	地域福祉センター（総合案内・会議室の予約等）		(社) 東海村社会福祉協議会内
			高齢者センター		282-4300
防災行政無線放送テレビホンサービス	0120-42-4848		障害者センター		282-4599
東海村合同庁舎（会議室の予約等）	283-3344		児童センター		306-1017
東海村中央公民館	282-3329	救急病院の案内	保健センター		282-2797
東海村立図書館	282-3435		救急医療情報コントロールシステム		241-4199
東海村青少年センター	282-7049		東海村消防本部・消防署		282-2038
東海村総合体育館	283-0673		東海村石神外宿浄水場（土・日曜日、祝日の断水等の連絡）		282-9200
東海スイミングプラザ	287-0807	小・中・高校生のための心の悩み電話相談室（毎週金・土曜日 午後3時30分～7時）		282-7070	
東海村テニスコートクラブハウス	282-8571	東海村姉妹都市交流会館	282-0535	ひたちなか西警察署東海地区交番	
東海文化センター	282-8511	東海村（基幹型）在宅介護支援センター	287-2516	東海郵便局	
東海ステーションギャラリー	287-3680	(社) 東海村社会福祉協議会	282-2804	ＪＲ東日本東海駅	
東海村立東海病院	282-2188	東海村在宅福祉サービスセンター	283-4344	常陸海浜広域斎場	
東海村清掃センター	282-7289	(社) 東海村シルバー人材センター	282-3446	災害情報案内専用ダイヤル	

水中体操教室参加者募集

健康維持コース

■期 日 前半…10月 3 日(月) から12月17日(土)までの週 1 日、または 2 日 後半…平成18年 1 月 7 日(土) から 3 月20日(月)までの週 1 日

■対 象 村内在住の①60歳以上で、体力や健康の維持を希望する方、②40歳以上で、生活習慣病の予防や体力の増進を希望する方

■日 程 等

対 象	クラス	曜 日	時 間	定 員
①	1 組	月・金	11:00～12:00	先着14人
①	2 組	月	13:00～14:00	先着14人
②	土曜	土	11:00～12:00	先着14人

■参 加 費

クラス	前 半	後 半
1 組	6,000円(20回)	3,000円(10回)
2 組、土曜	3,000円(10回)	3,000円(10回)

リハビリテーションコース

■期 日 前半…10月 6 日から12月15日までの毎週木曜日 後半…平成18年 1 月12日から 3 月16日までの毎週木曜日

■時 間 ①午前11時～正午 ②午後 1 時～2 時

■対 象 村内在住の40歳以上で、障がいがあり、機能回復訓練を希望する方

■定 員 若干名

■参 加 費 前・後半とも3,000円(10回)

場 所

総合福祉センター内機能回復プール

内 容

水中でのウォーキングや体操など

そ の 他

①初参加の方を優先します。②参加費は前半と後半に分けて徴収します。③運動機能を高めるための用具は個人負担となります(希望者のみ)。④移送サービス(有料)がありますので、ご希望の方は受け付けの際、申し込みください。

申し込み・問合せ

9月17日(土)までに、高齢者センター窓口(総合福祉センター内)へ直接申し込みください。なお、受け付けの際、簡単な問診を行います。

親子日帰り研修会参加者募集

- 日 時 10月16日(日) 午前 8 時集合(ふれあいの森公園駐車場)
- 目 的 地 那須ハイランドパーク
- 対 象 村内在住の母子家庭の親子
- 定 員 35人(申し込み多数の場合は抽選)
- 参 加 費 1,000円/世帯(入場料・昼食代を含む) ※乗り物代は自己負担となります。
- 申し込み・問合せ 9月23日(金)までに、境洋子さん(東海村母子寡婦福祉会会長 ☎282-4817)へ申し込みください。

「久慈川のほとり第19号」掲載原稿を募集します

- 久慈川水系環境保全協議会では、久慈川に関する風習などをつづった「久慈川のほとり第19号」の「水辺の話」に掲載する原稿を募集します。
- テ ー マ 川遊び、和紙作り、流域の祭り・風情など昔から言い伝えられていること
- そ の 他 ①800字から1200字程度でまとめてください。②原稿は、一部割愛する場合がありますので、ご了承ください。
- 申し込み・問合せ 12月 2 日(金)までに、経済環境部環境政策課環境保全係(内線1451)へ申し込みください。

チャレンジスクールテニスの部part2参加者募集

- 期 日 10月 9 日から11月13日までの毎週日曜日(全 6 回) ※予備日…11月27日(日)、12月 4 日(日)
- 時 間 午前 9 時～11時
- 場 所 村テニスコート
- 対 象 中学生以上で、村内在住・在勤・在学の方、および村内在勤者の同居家族の方
- 定 員 先着60人(最少催行人員15人)
- 参 加 費 1,500円/人
- 申し込み・問合せ 9月10日(土)から10月 1 日(土)まで(初日は午前 9 時から)に、参加費を添えて総合体育館へ申し込みください。

参加費
無料

「暮らしの中の簡単筋トレ」講演会参加者募集

「筋トレを暮らしの中に」をテーマに、講演や簡単な体操を行います。ぜひ、ご参加ください。

- 日 時 10月5日(水) 午後2時～4時
- 場 所 総合福祉センター「絆」
- 対 象 村内在住の方(先着150人)
- 内 容 講演、簡単な体操(実技)
- 講 師 久野譜也さん(筑波大学助教授)
- 申し込み・問合せ 9月30日(金)までに、福祉部高齢福祉課高齢福祉係(内線1163)へ申し込みください。

9月の休日診療日程

診療時間	午前9時30分～正午、午後1時～2時	
問 合 せ	救急医療情報コントロールシステム(☎241-4199)	
期日	病医院名	電話番号
11日(日)	尾形医院	282-4781
18日(日)	東海クリニック	283-1711
19日(月)	東海病院	282-2188
23日(金)	武藤小児クリニック	282-7722
25日(日)	茨城東病院	282-1151

参加費
無料

ステップエクササイズ参加者募集

踏み台昇降運動器具を用いたステップエクササイズで、大腰筋を鍛えましょう。

■日 程 等

クラス	期 日	対 象
Aクラス	10月5日(水)	村内在住の40歳以上60歳未満の方
	10月19日(水)	
	10月26日(水)	
Bクラス	10月7日(金)	村内在住の20歳以上40歳未満の方
	10月14日(金)	
	10月28日(金)	

- 時 間 午前9時30分～11時
- 場 所 総合福祉センター「絆」
- 定 員 各クラス先着35人
- そ の 他 予約制保育サービス(無料)があります(Bクラスのみ)。
- 申し込み・問合せ 9月22日(木)までに、保健センターへ申し込みください。

受講料
200円/人

小学生卓球講習会受講生募集

- 日 時 10月8日(土) 午前9時～正午
- 場 所 総合体育館
- そ の 他 靴、卓球用具をお持ちください。
- 申し込み 所定の用紙に必要事項を記入の上、10月5日(水)までに、総合体育館に備え付けの申し込み箱へ投函してください。
- 問 合 せ 本石章司さん(卓球連盟事務局 ☎282-2955)

受講料
4,000円/人

甲種防火管理者資格取得講習会

- 期 日 10月20日(木)・21日(金)
- 時 間 午前9時～午後5時
- 場 所 消防本部
- 対 象 ①防火管理者に選任される予定の方 ②防火管理業務に従事している方 ③防火管理者資格を取得したい方
- 定 員 先着42人
- 申し込み・問合せ 所定の用紙に必要事項を記入の上、9月26日(月)から、消防本部へ申し込みください。

参加費
500円/人

第8回ナイトハイク参加者・スタッフ募集

東海村青年会では、「ナイトハイク」に参加する体力に自身のある方や交友を深めたい方、当日のスタッフを募集しています。ぜひ、ご参加ください。

- 期 日 10月1日(土)
- 時 間 午後4時30分受付開始
- 場 所 中央公民館集合
- 対 象 小学4年生以上の方2人以上で構成されたチーム ※小・中学生のチームは、20歳以上の方の同伴が必要となります。
- コ ー ス 中央公民館を起点とした村内約20キロメートル
- そ の 他 スタッフは20歳以上の方で、定員の制限はありません。
- 申し込み・問合せ 参加者の氏名・年齢、代表者の住所・電話番号を記入の上、9月22日(木)までに、北村明寛さん(東海村青年会副会長 FAX282-9818)へファクシミリで申し込みください。

参加費
無料

精神障がい者家族教室参加者募集

- 期 日 ①9月22日(木) ②11月25日(金)
- 時 間 午後1時30分～4時
- 場 所 ひたちなか市ヘルスケアセンター(ひたちなか市松戸町1-14-1)
- 対 象 統合失調症の方の家族
- 内 容 ①演題「精神科疾患の理解と治療薬について」講師/高沢彰さん(汐ヶ崎病院院長) ②演題「障害者自立支援法について」講師/小松崎馨さん(ハートケアセンターひたちなか施設長)
- そ の 他 2回ともご参加ください。
- 申し込み・問合せ 9月16日(金)までに、福祉部社会福祉課障がい福祉係(内線1136)へ申し込みください。

10月1日は国勢調査の日



国勢調査は、5年に1度、国内に住んでいるすべての人を対象として行います。9月下旬に、「国勢調査員証」を身に付けた調査員が皆さんのお宅を訪問し、調査票を配布しますので、調査

へのご理解・ご協力をお願いします。

■問 合 せ 企画総務部企画財政課企画調整係
(内線1335)

放 火 に ご 注 意！

村内で、放火による火災が発生しています(放火の疑いを含め、1月から8月までに6件)。建物周囲に置いてある可燃物への放火や、鍵の掛かっている建物に侵入しての放火など、手口が悪質化しています。一人ひとりが①ゴミは決められた時間に決められた場所へ置く②建物周囲の暗い場所に照明をつける③倉庫・物置にも施錠する④建物の周りに燃えやすい物を置かない——などの環境づくりに努めましょう。

■問 合 せ 消防本部

となりのまちから イベントガイド

友部町 ● 第16回ふるさと友部まつり

- ◆日 時 10月22日(土)・23日(日) 午前9時～午後4時(23日(日)は午後3時30分まで)
- ◆場 所 友部中学校(友部町中央4-1-1)
- ◆内 容 行政PRコーナー、特産物コーナー、キャラクターショーなど
- ◆問 合 せ 友部町経済環境部産業振興課(☎0296-77-1101 内線351)

笠間市 ● 第7回笠間シティーマラソン大会

- ◆期 日 12月4日(日) ※雨天決行
- ◆場 所 笠間芸術の森公園(笠間市笠間2345)
- ◆種 目 2km…小学生・親子・車いす・一般男女 3km…中学生・一般男女 5km、10km…一般男女
- ◆参加費 一般・親子の部…2,000円 高校生…1,000円 小・中学生…300円
- ◆申し込み・問合せ 10月31日(月)までに、笠間シティーマラソン大会事務局(☎0296-72-9330 電子メールsogokoen@city.kasama.ibaraki.jp)へ申し込みください。

ひたちなか市 ● ひたちなか市産業交流フェア

- ◆日 時 11月5日(土)・6日(日) 午前10時～午後3時30分 ※雨天決行
- ◆場 所 ひたちなか市総合運動公園(ひたちなか市新光町49)
- ◆内 容 物産店、即売コーナー、模擬店、太鼓、キャラクターショー、サンマのつかみ取りコーナーなど
- ◆問 合 せ ひたちなか市産業交流フェア推進協議会事務局(ひたちなか市経済部商工振興課内 ☎273-0111 内線1342)

エトセトラ

「久慈川のほとり第18号」を販売しています

久慈川水系環境保全協議会では、久慈川にまつわる言い伝えや風習などをつづった「久慈川のほとり18号」を1冊500円で販売しています。10号から17号の販売も行っていますので、ぜひお買い求めください。

■申し込み・問合せ 経済環境部環境政策課環境保全係(内線1451)

家族交流会を開催します

- 期 日 9月16日(金)
- 時 間 午後1時30分～3時30分
- 場 所 舟石川コミュニティセンター
- 対 象 村内在住で、家庭に心の病気を持つ方がいる家族
- 内 容 懇談、意見交換
- 費 用 無料
- 申し込み・問合せ 福祉部社会福祉課障がい福祉係(内線1136)

土壌線虫剤の空き缶を回収します

土壌中の病原菌や線虫などを防ぐ土壌線虫剤(DD、ドロクロール)の空き缶を回収します。

- 日 時 9月28日(水) 午前9時～午後3時
- 場 所 J A ひたちなか東海支店
- 費 用 100円/缶
- そ の 他 ①缶の中は空にしてください。②缶の上部と底部の両方に直径5センチメートル以上の穴を開けてください(事前に穴を開けることができない方は、会場に道具を用意しますので、各自で開けてください)。
- 問 合 せ J A ひたちなか東海支店(☎282-0203)



ちびっこ
美術館



みぎわ 幼稚園 ● おお ぶ さ と き 大部聖貴くん

海の中

海の中でたくさんの魚が泳いでいる様子を描いてくれたのは、「いろいろな魚の名前を知っている」という聖貴くん(5歳)。「この青い魚がヒラマサだよ。それから…」と目を輝かせながら話してくれました。

ぼくの夢 Dream-54 わたしの夢



夢は…。 “婦人警官”

村松小学校 6年 ● 小野寺真由

私の将来の夢は、婦人警官です。私は小さい頃から、みんなの安全を守る仕事にあこがれていました。いろいろな所で警察官を見かけますが、私はいつも、その一生懸命みんなのために働いている姿に強く心を打たれます。そして、改めて「将来、みんなの安全を守る仕事をしたい」と思うのです。いつか婦人警官の制服を着て働くことを夢見て、今は一生懸命勉強しようと思います。

近々、郵便局が民営化されそうですが、私の友人の話によると、将来、警察も民営化されるかもしれないということです。でも、たとえ警察が民営化されたとしても、私がみんなの安全を守る婦人警官になろうという思いは変わりません。だから、自分の夢が実現できるようにたくさん勉強して、一生懸命頑張っていきたいと思います。

わが家の 子育て奮戦記

表紙の「ひと」
しまだ なおこ
島田直子



今年の4月、私たち家族は東海村へ引っ越してきました。長女・実夢が1歳9か月のころです。それまで、私は結婚してから約2年半、生まれ育った地元から遠く離れた地で暮らしていました。実夢を産んだときは、実家に里帰りをしませんでした。保育士の資格を持っていたこともあり、正直子育てを甘くみていたのかもしれないです。友人も知人もいない地で、初めての子育てが始まりました。夫は、大学に通いながら生活費のためにアルバイトにいきそむ日々で、なかなか子育てには参加できないような状況でした。何度か、子育てを支援してくれる施設や公園に足を運びましたが、施設の場所が遠かったり公園には子どもがいなかったりで、次第に私は引きこもりがちになってしまい、毎日実夢と2人きりのような生活に…。幸い実夢は、あまり手の掛からない子でしたが、外出しない日が続くとストレスがたまり、実夢に当たって自己嫌悪に陥ることもしばしば。そんなときは外出を

して思いっきり羽を伸ばすのですが、今度は疲れがたまってしまうといった悪循環。それでもこんな私を、「ママ大好き」と体いっぱい伝えてくる実夢。その笑顔に幾度となく救われたことでしょう。そして、現在は実家に程近いこの東海村に移り住んで約半年。2歳になった実夢は、たくさんの言葉を覚えて会話が楽しめるようになり、それ故今までは違った大変さを感じています。ここに住み始めたばかりのころは、子育てや家事に追われ、また引きこもってしまいました。以前とは違い、ここには子育てを支援してくれる施設や公園が近くにたくさんあり、少しずつ実夢と外へ出られるようになりました。そこで、私たちは多くのお母さんや子どもたちと接することができて次第に気持ちになりました。地域の方々には、感謝の気持ちでいっぱいです。これからは、夫とともに、心にゆとりを持ち、慌てず焦らず子育てを楽しみたいと思っています。